

水稻の玄米外観品質を安定させる新配合肥料の開発

【特徴】

- ・緩効性窒素肥料を含む全量基肥肥料を施用することで、水稻の胴割粒や基部未熟粒が低減でき、外観品質を安定させる。
- ・窒素施用量は慣行に対して8%程度の減肥が可能で、収量、耐倒伏性、食味は同等である。

【活用が見込まれる分野】

- 現地実証済み
- 県内水稻農家で活用中

【成果】

○「コシヒカリ」を対象とした「軽いJAんてまいらず」、「ヒノヒカリ」を対象とした「甲斐てまいらず」として2銘柄を販売

【技術内容】



軽いJAんてまいらず

- 対象品種：コシヒカリ、あさひの夢
- 内容量 15kg
(農家の高齢化に対応し軽量化)
- 配合比率

速効性肥料	40%
リニア型40日タイプ	30%
シグモイド型80日タイプ	30%
- H29 販売数 3,002 袋



甲斐てまいらず

- 対象品種：ヒノヒカリ
- 内容量 20kg
- 配合比率

速効性肥料	40%
リニア型40日タイプ	30%
シグモイド型100日タイプ	30%
- H29 販売数 1,094 袋